

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学会津医療センター血液内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 2 月 福島県立医科大学会津医療センター血液内科学講座
講座主任 大田雅嗣

【研究課題名】会津地域における血液腫瘍疾患の発症と疾患特性に関する疫学調査

【研究期間】

平成 30 年 2 月（承認後）～平成 35 年 1 月

【研究の意義・目的】

福島県会津地方にはこれまで血液内科疾患を診療する組織的医療機関が皆無であった。それまで、血液疾患（特に血液悪性腫瘍）が疑われた場合、新潟、福島、郡山、白河にある総合病院を受診せざるをえず、患者に多くの負担を強いてきた。

2010 年 4 月当施設の前身である旧福島県立会津総合病院に血液内科診療科を新設（会津医療センター準備室）し、会津地域の血液疾患全般の診断治療が可能となった。会津地域は特に高齢化率が高く、腫瘍疾患の発症率も高いものになっている。会津で唯一の血液疾患治療センターである会津医療センター血液内科で診断治療した症例を解析することは会津地域における血液腫瘍疾患の発症率、臨床的特異性を把握する上で疫学的にも重要な意義を持つ。

【研究の方法】

本研究は対象となる血液悪性腫瘍疾患症例の診療録からデータ抽出する。

症例登録内容：

患者登録ID（電子カルテIDを置き換える）/性別/登録当時の年齢/住所（都道府県市区町村郡まで）/診断日/WHO分類に基づいた疾患名/初期治療内容/治療効果の判定と判定日/予後、転帰/全生存期間/無増悪生存期間

解析内容

1. 血液悪性腫瘍別の発生数、会津地域での発症率、および地域人口動態で補正した疾患発症率の算定
2. 疾患別病型別寛解率、5年生存率、生存曲線の解析
3. 疾患別病型別生存に関する予後因子解析
4. 血液悪性腫瘍疾患発症の地域特異性についての解析

調査に関する注意点：

1. 一疾患につき一登録とする。同一患者で複数の発症が見られた場合は、改めて別疾患の登録を行う。
2. 2010年4月からの登録症例の概要につき、年に一回経過報告をする。
3. 疾患名はWHO分類の2017年版（改定第4版）に準拠する。しばらくの間改定第4版が使われるものと考えられ、以前の診断の見直し（カテゴリー分類）も同時に実施する。